

令和6年度 学校自己評価システムシート ( 県立熊谷高等学校 定時制 )

目指す学校像 社会で「はたらく」生徒を育てる学校

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 社会で生きる力を身に付ける指導の実践 2 熊定愛を高める指導の実施 3 保護者や関係機関と連携した教育活動の実践 4 安心・安全な熊定づくりの推進
------	--

達成率	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者	名
生徒	名
事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 数字欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						学校関係者評価		
年度目標				年度評価(月日現在)		実施日 令和6年1月26日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成率	次年度への課題と改善策	
1	<b>【現状】</b> 生徒一人一人の学習到達度を把握した指導計画の作成に取り組んでいる。  <b>【課題】</b> 「学びの基礎診断」を積極的に活用した学びのサイクル構築及びICTの有効活用やアクティブ・ラーニングの手法を活用した授業の実践	○生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の定着	①学びの基礎診断のまどめテストの実施(年間7回)  ②教員相互の授業見学の実施  ③進路面談(年2回)及びハローワークや企業等と連携した進路指導の充実  ④欠点保有者数の減少	①「学びの基礎診断」における学習達成率(年間の平均点70点以上生徒の割合)の増加  ②評価アンケート(授業満足度)の肯定的な評価割合の増加(前年度比+5%)  ③進路達成率の向上  ④学期ごとの欠点解消補習の実施				
2	<b>【現状】</b> SCや社会的養護施設等と連携するなど、きめ細かい指導に取り組んでいる。  <b>【課題】</b> 充実した学校生活の実現(学校行事、部活動の工夫、充実)	○学校行事や部活動の活性化(外部機関との連携)	①SC等と連携した生徒理解  ②主体的に取り組む学校行事の企画・立案や部活動の活性化  ③面談指導の充実  ④式典や行事等での校歌を歌う機会の確保	①転退学者の減少及び遅刻者の減少  ②学校行事への出席率の増加及び部活動加入率の増加  ③生徒一人一人の実態に応じた面談の実施(必要に応じて家庭訪問)  ④校歌が歌える生徒の増加(前年度比+5.0%)				
3	<b>【現状】</b> 学校案内等を公表するとともに、学校説明会を実施するなど、本校の魅力や定時制の特色を発信している。  <b>【課題】</b> 保護者や生徒との連絡を確実にするためのメール配信システムの登録者の割合向上	○効果的な広報活動の実施(定時制の特色のアピール)  ○メール配信システム加入率の向上	①HPの更なる充実  ②学校説明会の参加者の増加  ③学校行事、公開授業等、広報活動の充実(保護者等の参加者の増加)	①HPの日々更新及び内容の充実等  ②学校説明会の参加者数及び学検志願者数の増加  ③学校行事、公開授業、給食試食会等への保護者等の参加率の増加				
4	<b>【現状】</b> 施設・設備の安全維持に努めるとともに、自校給食実施校として衛生面での安全・安心の確保に努めている。  <b>【課題】</b> 登下校時の事故防止(自転車運転マナーの向上、交通安全指導の充実)及び給食喫食率の向上	○施設・設備、給食点検の実施及び定期的な交通安全指導の実施  ○給食喫食率の向上	①巡回による日常的な設備点検の実施  ②給食点検、検食の確実な実施  ③自転車、自動二輪車、自動車利用者へのルールの徹底	①HR教室や使用教室の安全点検の実施及び速やかな修繕  ②安全に配慮した給食の提供  ③登下校時の交通事故件数の減少				
			①給食室の席の自由化、リクエスト給食・セレクト給食の実施  ②栄養技師による給食指導の実施	①、②給食を食べる生徒数の増加				